

Super-twin の妊娠, 分娩, 成長, 発育に関する研究

—— 一般身体計測値の検討ならびに生活歴の作製 ——

研究協力者 馬場 一雄
藤井 裕

研究目的

昭和51年1月31日, 鹿児島市立病院において出生した山下家の「5つ子」について昨年度にひきつづき一般身体計測, 生活歴の記録, 疾病有無の記録を行いながら, 昨年度と今年度の記録の比較検討を行い, 集積した成績をもって今後の多胎児出生の折における一指標となりうればとの考えより「5つ子」の一般身体計測, 生活歴の作製, 疾病の有無につき記録した。

研究方法

今年度の一般身体計測は6カ月ごとに日大板橋病院にて計測を行った。生活歴の作製はベビーシッターによる自宅訪問および母親への手紙による質問形式をとりながら毎月にとまとめ記録を行った。

研究結果

山下家の「5つ子」の出生時より満7才までの体重, 身長, 頭囲, 胸囲の身体計測値は表—1のごとく集計された。

計測されたものについての個々の分析結果は次のごとくであった。

体重に関しては昭和55年度の文部省調査による年令別体重の7才時の男児の平均値は23.1kg, 女児の平均値は22.6kgであり, 6才時より7才時までの一年間の体重増加は男児, 女児共に2.3kgである。5児共に体重増加傾向を示しているが, 平均値以下であり, 1年間体重増加も2.3kgにおよばなかった。

身長に関しては文部省調査による7才時の平均値は121.2cm, 女児の平均値は120.4cmであり, 6才時より7才時までの一年間の身長の伸びでは男児, 女児共に5.7cmである。5児共に平均値以下であったが年間の身長の伸びでは全員5.7cmを上廻っていた。

体重, 身長については昨年度6才時の記録とほぼ同様の傾向を示していた。

7才時の身長, 体重, 胸囲につき文部省値にあてはめ標準偏差(SD)をもって現わしたものが表—2であ

る。

身長では男児は第1子—0.65SD, 第3子—1.73SD, 女児は第2子—0.79SD, 第4子—0.77SD, 第5子—1.34SDであった。

体重については男児の第1子—1.42D, 第3子—1.68SD, 女児では第2子—1.59SD, 第4子—1.24SD, 第5子—1.93SDであった。以上の値より身長, 体重共に標準偏差値からは異常とはいえなかった。

身長について経時的に成長曲線をパーセントイルで金沢大学小児科で作製された昭和45年度の身体計測値にプロットしたものが図—1—図—5である。

これによれば第1子, 第2子, 第4子は1才時に3%tile ~ 0.5%tileであったものが以降ほぼ50%tileに近いものにあった。第3子および第5子は1才時0.5%tileであったものが, 7才時でも第3子は10%tileであり第5子は25%tileであるため今後身長の伸びにつき定期的な計測の必要性があると考えられた。

成長の評価としてLohrer指数をもって判定した。これによれば第1子112, 第2子107, 第3子118, 第4子111, 第5子108であった。第3子の“ふつう”を除き, ほぼ全員が“やせている”と評価された。

生活歴の作製においては毎月ごとに集積されているものから運動機能発達を抜粋したものが表—3であり, 個性情緒発達について抜粋したものが表—4である。

運動機能発達のうち粗大運動では集団で行うスポーツである野球, サッカー, ドッジボールを好んで行い男女差はみられていない。縄飛びに関しては第1子と第3子の男児は連続飛びであるのに対し, 女児は全員二重飛びができ始めている。個々の動きをみる微細運動では男児はミニカーなど男児らしい遊びをし, 女児では文字を書く, 絵を描くなど女児らしい傾向があった。

個性, 情緒発達では男児は男児同志で遊び女児は女児同志で遊ぶ傾向がある。これらの遊びで男児間には問題はないようであるが, 女児では三人の組合せを作ることなく, 第2子が中心となり第4子と第5子と別々

に遊ぶが第4子と第5子の組合せの遊びはみられていない。

尚生活歴のうち3カ月間の抜粋は別紙のとおりである。

疾病歴では特に大きな疾病に罹患することはないが、軽微な外傷がみられ始めている。

考 察

経時的な一般身体計測値よりみたものでは文部省の年齢別、身長、体重値から第3子および第5子について問題があり、特に身長については骨年齢との比較が必要であり、今後も経時的な測定が重要であると考えられた。

生活歴より抜粋した運動機能発達および個性、情緒発達では集団的な遊びが目立ち始めると共に5児相互間では男児は男児同志、女児は女児同志で遊ぶ傾向を示しているが、女児間には問題があり、今後の経過をみていく必要がある。

疾病歴からは今後外傷などに気をつけていく必要性があると考えられた。

要 約

昭和51年1月31日鹿児島市立病院にて出生した山下家の「5つ子」の満7才時の身体計測値から身長については1年間の伸びは平均値以上ではあるが、第3子は10%tileであり、第5子は25%tileであった。体重に関しては全員共に平均値以下であった。しかしながら身長、体重共に異常という判定はされなかった。成長の評価としての Lohrer 指数はほぼ全員「やせている」と判定された。

生活歴からは運動機能発達では全員集団的な運動を好み、個々の遊びでは男児は男児らしく、女児は女児らしい遊びをしていた。個性情緒発達では女児相互間に問題が残されていた。

〔1月〕

I 行事など

- 1月2日 父の友人宅へ家族揃って年賀に出かける。
- 3日 Fを筆頭に全員が耳下腺炎にかかるが予防注射のおかげで軽くすむ。
- 8日 第3学期始業式
- 25日 29日 NHKのロケ
- 31日 6歳の誕生日

II 全 般

- ・視聴しているテレビ番組はNHKの「ウルトラアイ」、「名犬ジョリー」、「音楽の広場」、10チャンネル「忍者ハットリ君」
- ・冬休みの間は時折午前中に教育テレビの番組を視聴する。

III 遊 び

- 全般・家庭内で続行している遊びは幼稚園ごっこ、カードづくり、おうちごっこ。
- ・庭ではパースデーケーキ屋さん、泥んこの遊びが大流行。パースデーケーキさんは5人の誕生日を前にしてかなりの期待をして遊んでいる様子。
- F・工作、レゴが大好き。レゴブロックでは主に飛行機、自動車を組立てる。
- H・絵を描いたり、文字を書くのが好き。
- Y・工作、レゴが大好きで飛行機や自動車が出来上がる。
- T・幼稚園ごっこが最も好きで他にバレエごっこやピアノを弾くのが好き。
- S・ひとり静かに机に向かって絵画、文字を書いたりして時間を過ごす。

IV 社会性、情緒

- 全般・1月31日に5人が6歳の誕生日を迎え多摩川公園で代表取材が行なわれ、これがテレビのニュースになって報道される。なぜ報道されるのか母親が説明するがどのくらい理解したか不明。5人全員で遊ぶ時はYかTがリーダーシップをとることが多い。

げんか…1対1の場合は主に男の子同士が多い。げんこつのなぐりあいにあることもあり、この間女の子3人は全くの知らんぷり。1対多数の場合は口げんかが殆んどで、この時は女の子がひとりに

なって相手が多数ということが多い。

F・Yとは良きパートナーシップである。ふたりとも対等にリーダーシップをとっている。

・相変わらず内弁慶だが、慣れた所では思わぬところで積極的になることがある。

H・外でも積極的になってくるが思わぬ失敗をしたり、恥しくなると泣き虫になってしまう。

Y・協調性があるのはいいけれど、この外でのしわ寄せが家庭内にて時々爆発することもある。またFの最近の積極性におされ気味でYの伸び悩みがあるようだ。

T・調子のいい時は実に積極的にリーダーシップをとる。しかし泣き虫とやつ当りは続行。

・幼稚園での友だちも増えている。

・昨年末頃からリーダーシップをとることができるようになったのはおけいごとなどでT自身の世界が広がったからだろうか。

S・おしゃべりを積極的にやり、人なつっこいので友人からも親しまれている。

・気の強さとやさしさは相変わらずである。

・指しゃぶりは続行。

V 学 習

全般・数唱は全員100くらいまでできる。

[7月]

I 行事など

7月17日 夏休みが始まる。

7月19日～24日 信州の佐久へ家族揃って出かける。

7月31日 劇団「丹」の「おばけりんご」を観劇。この他にプラネタリウムや上野科学博物館などへ出かける。

II 全 般

・夏休みを迎えるに当って母親と子供との間に特に約束したことはなし。

・しつけにおいて両親が最も気を配っていることは、他人に迷惑をかけないこと、自分のことは自分でするという2点である。

・夏休みに入ってからの一日のスケジュールは下記の通り。

6:00 起床

7:00 計算練習やピアノの練習

8:00 朝食

}

12:00 朝食後は遊ぶ

12:30 昼食

13:00 あそぶ

15:00 おやつ

おやつ後は遊ぶ

18:00 夕食・入浴

20:00 本の読み聞かせ

20:30 就寝

III 遊 び

全般・多摩川へ行って土手すべりやせみとりをする。

・庭でどろんこ、運河を掘って水を流して舟を浮かべたり、時にはビー玉を空堀の運河で競争させたりする。

・夕方は殆んど毎日30分程母親のピッチャーで野球をする。

・夏休みに入ってからテレビの視聴番組は下記の通り。

(月曜日)ウルトラアイ

(金曜日)音楽の広場

その他に自然もの、反戦もの(戦争の記録)などを適宜みせた。

F・Y・7月25日にモーター付のモーターボートのプラモデルを作って、お風呂に水を入れて浮かばせて走らせて毎日飽きずに続けた。

H・T・S・男の子の作ったモーターボートを見物もしくは時々動かさせてもらっては喜んでいる。

IV 社会性、情緒

全般・たまきちゃん、ちひろちゃん(幼稚園時代からの友人)とはよく行き来する。(夏休みに入ってからのこと)この他の友人とは殆んど遊ばず。近所のてっちゃんとは殆んど毎日行ったり来たりしている。特にYと気が合うようである。

・7月31日に「おばけりんご」を観劇してからおばけの話がよく話題になり、おばけのスリルを楽しみながら洗面所やお手洗いにいくのを恐がる。

F・自分の興味のあることへの集中が非常に目立つ。その反面、気がのらないと着替え、入浴、歯みがきなど叱られてもやらない。

- 相変わらずのワンマンの甘えん坊。
- H・やる気に充ちているが、その反面非常に泣きペン(くやし泣きが多い)になったところがある。
- のびやかになってきたようである。
- 悪さをして叱られることが多くなった。
- 甘えることが多くなった。
- Y・情緒が安定してきたように感じる。対人面で輪を広げてきたようだが、かなり他の人に気を遣っているのではと思わせるところがある
- かなり集中して何かをすることができる。
- 祖母の庭仕事の手伝いをかなりやる。
- T・友人関係ではかなり頑張っているようだが、家では甘えたくて仕方無いようである。しかしその甘え方がよくわからないようで、いたずらに自我を通そうとして子供同士でも大人に対してもトラブルが目立つ。・積極性が出てきたように感じる。
- S・学校では友人の輪をかなり広げているようだが、家ではその反動か、くたびれるのかギヤーと泣き騒ぐことが多い。
- 他の人に対してやさしく、また勇気もある。

V 学 習

- 全般・母による本の読み聞かせは相変わらず続いているが、5人各自でもよく読んでいる。朝、起きるとしばらくはふとんの中で読んでいる。
- 図書館へは目が悪くなりそう、と母親が心配し、またアタマシラミの流行があったりするので行っていない。
 - 低学年向きの世界文学全集を殆んど母親の読み聞かせで読んでしまう。中でも「よわむしおぼけ」が気に入り3~4回繰り返す。(かなり長い本である。)

[12月]

I 行事など

- 12月2日 小学校の校外学習(遠足)
- 12月21日 2学期の終業式
- 12月30日 銀座へ家族揃って出かけ、食事をしてそれぞれに通学用靴とレゴを買う。
- 12月29日~31日 家族みんなで大そうじ。

II 全 般

- 小学校でのクリスマス会は特になし。
- 家庭でのクリスマス会は24日に母手作りの夕食会。クリスマスソングのレコードをかけ、NHK「音楽

の広場」クリスマス特集を視聴。サンタクロースが来るように祈って早くふとんに入る。

- クリスマスツリーのデコレーションは5人も頑張る。クッキーを焼いてこれにデコレーションしてツリーに飾る。雪や電球をつける。サンタクロースにプレゼントのおねだりの手紙を書く。

III 遊 び

- 全般・友だちが来訪するとレゴやNゲージで遊び、その後外へ出る。
- 5人共同でやる遊びはレゴ。部屋中に広げている。発起人はいつもF。
 - 冬休みに入ってオセロゲーム、郵便ごっこ(年賀状を書いてから、大人、また子供同士で手紙のやりとりをするようになる。)の遊びが始まる。
 - 野球、サッカー、ドッジボールは全員が好き。
 - 女の子3人は二重とび、ばってんとびなど縄とびを上手にやる。男の子は連続とびを20回近くまでできるようになる。
 - F・レゴ、プラモデル、めんこ、野球、サッカーがお気に入りの遊び。
 - 補助車なしの自転車にはまだ乗れない。
 - H・絵画、文字を書く遊びが大好き。
 - Y・野球、サッカーがお気に入り。
 - T・絵画、文字を書く遊びが好き。
 - S・絵画、文字を書く遊びが好き。

IV 社会性、情緒

- 全般・サンタクロースを7対3ぐらいで実在すると思っている様子。また欲しいおもちゃを持ってきてくれるいい人と5人とも受けとめている。かなり期待している。
- お正月はお年玉がもらえると期待している。
 - 冬休みに入って、作文を書く、病気をしない、手伝いをすると両親と約束する。
 - おつかいには財布を持ちたがり「さいふ持たせてくれないんだったら行かないっ」ということも多い。
 - けんかの原因は物の奪い合いが殆んど。
 - 近所のでっちゃんと時おり外で野球、サッカーをする。
 - 公園は制約が多いし、よその子(幼稚園ぐらいの子)がいじめるからと言ってあまり行かなくなる。
 - FとY2人だけの遊びはけんかもなくよく遊んでいる。Fの態度が大きくYがFに合わせて遊んでいる。

レゴやミニカー、Nゲージでよくあそぶ。

- H, T, S3人だけの遊びは先月同様にうまくいく時と、ひとりつまはじきされる時とがある。この場合の組合せはHとT, HとSでなぜかTとSという組合せがない。
- F・クリスマスの夜はサンタクロースからのプレゼントへの期待があまりに大きくなかなか寝つかれなかった。
 - ・全くのマイペース型。
 - ・集中力があると担任の先生に言われている。
 - ・怖い話が好きで聞きたがるくせに、聞いてしまうと恐くてお手洗いに行けなくなってしまう。
 - ・クリスマスプレゼントはレゴブロックを希望する。そして願いがかなう。
 - ・卵のからむきを手伝う。
- H・性格のかたさがほぐれてきたようである。
 - ・負けず嫌い、は強く、勝負事で負けたりくやしい事があると大泣きする。
 - ・手伝いはかつおぶし削りを手伝う。
 - ・クリスマスプレゼントにビー玉入れを希望し、かなう。
- Y・クリスマスの夜はサンタクロースへあまりに期待しすぎてなかなか寝つかれなかった様子。
 - ・人あたりの良さ、付き合い上手は相変わらずである。
 - ・親、特に父親にあまえないようで大人の関心をひくために手伝いなどをとともよくやる。母親から見るとこれがいじらしくてかわいそうになることもあるとのこと。
 - ・マヨネーズ作りの手伝いをよくやる。
- T・マイペースでやる。
 - ・感情の起状が激しく、大人にかまってもらいたいという気持ちが強い。
 - ・卵のからむきの手伝いが好き。
 - ・クリスマスプレゼントにビー玉入れを希望し、かなう。
- S・マイペース型。
 - ・とってもやさしいが、負けず嫌いも強い。
 - ・かつお節削りをよく手伝う。
 - ・クリスマスプレゼントにビー玉入れを希望し、かなう。

※単記・Yはクリスマスプレゼントにゲームマシンを希望するが高価で実現せずにレゴブロックになる。

V 学 習

全般・冬休みの宿題は家の手伝いをする事。

- 5人とも学校の科目で得意不得意はまだないようだが、5人とも音楽、生活散歩が好き。
 - 低学年向きの本を各自、自分で読んでいる。
- 水泳教室はA級のままだが、
水泳教室はB級に進級しとても気をよくしている。
プールごっこを家でやる時はリーダーシップをとる。
- 絵画教室には疲れるからと言いつつも出かける。
- H・水泳教室はB教に進級しとても気をよくしている。
 - ピアノは毎日ひたすら練習している。
 - 絵画教室には積極的に出かける。
- Y・水泳教室でB級に進級で気をよくしている。
 - ピアノは毎日の練習をなんとか済ませている状態。
 - 絵画教室に積極的に出かける。
- T・水泳教室はA級のままだが、プールごっこを家でやる時はリーダーシップをとる。
 - ピアノは毎日熱心に弾いている。
 - 絵画教室には積極的に出かける。
- S・水泳教室には実に積極的で、プール博士の別名あり。
 - 「だって、ピアノ嫌いだもん」と言いつつも毎日弾いている。遊びのピアノは好き。
 - 絵画教室には積極的に出かける。

表一 1 身 体 計 測 值

	出生時	1 才	2 才	3 才	4 才	5 才	6 才	7 才
第一子 (♂)	體重	8,200 g	10,200 g	12,700 g	14,130 g	15,600 g	16,500 g	18,500 g
	身長	43 cm	83 cm	92.5 cm	98.9 cm	105.6 cm	111.7 cm	117.9 cm
	頭圍	31.3 cm	47 cm	52 cm	52 cm	52 cm	53.7 cm	54 cm
	胸圍	24 cm	43 cm	52 cm	52.5 cm	51.5 cm	54 cm	55.5 cm
第二子 (♀)	體重	1,800 g	9,670 g	11,660 g	12,900 g	14,000 g	15,000 g	17,000 g
	身長	45 cm	81 cm	89 cm	96.6 cm	102 cm	109.6 cm	116.4 cm
	頭圍	31.5 cm	46 cm	50 cm	50 cm	50.7 cm	51 cm	52.5 cm
	胸圍	25 cm	42 cm	51 cm	49.5 cm	50.7 cm	51 cm	53.7 cm
第三子 (♂)	體重	1,130 g	9,290 g	11,510 g	12,580 g	14,000 g	15,000 g	16,920 g
	身長	41 cm	79.3 cm	87.1 cm	93.1 cm	100 cm	106.1 cm	112.5 cm
	頭圍	30 cm	46.8 cm	51.4 cm	52 cm	50.7 cm	52 cm	53.6 cm
	胸圍	21.2 cm	43 cm	48.5 cm	49 cm	52 cm	53 cm	55.5 cm
第四子 (♀)	體重	1,300 g	9,630 g	11,520 g	13,700 g	15,500 g	16,500 g	17,650 g
	身長	43 cm	79.5 cm	88.6 cm	95.4 cm	101.8 cm	109.1 cm	116.5 cm
	頭圍	29 cm	46 cm	50 cm	51 cm	51 cm	52 cm	52.5 cm
	胸圍	22.5 cm	43 cm	49.5 cm	51.5 cm	52 cm	54 cm	55.5 cm
第五子 (♀)	體重	990 g	8,140 g	9,750 g	11,120 g	13,000 g	14,000 g	15,840 g
	身長	36 cm	78 cm	87 cm	93.9 cm	101.5 cm	107.5 cm	113.6 cm
	頭圍	26.9 cm	44 cm	47 cm	47.5 cm	48.7 cm	49.5 cm	50 cm
	胸圍	20. cm	40 cm	48.5 cm	48.5 cm	49.3 cm	51 cm	54 cm

表一 2

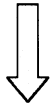
	第 1 子(♂)	第 2 子(♀)	第 3 子(♂)	第 4 子(♀)	第 5 子
身 長	117.9	116.4	112.5	116.5	113.6
	- 0.65	- 0.79	- 1.73	- 0.77	- 1.34
体 重	18.5	17.0	16.9	17.6	15.8
	- 1.24	- 1.59	- 1.68	- 1.42	- 1.93
胸 囲	55.5	53.7	55.5	55.5	54.0
	- 1.1	- 1.1	- 1.1	- 0.69	- 1.1

表—3 運動機能発達

	粗大運動	微細運動
第一子	縄飛び（連続飛び） 野球，サッカー ドッジボール	プラモデル レゴ，ミニカー
第二子	縄飛び（二重飛び） 野球，サッカー ドッジボール	文字を書く 絵を描く レゴ
第三子	縄飛び（連続飛び） 野球，サッカー ドッジボール，泥んこ遊び	ミニカー レゴ
第四子	縄飛び（二重飛び） 野球，サッカー ドッジボール	文字を書く 絵を描く レゴ
第五子	縄飛び（二重飛び） 野球，サッカー ドッジボール	文字を書く 絵を描く レゴ

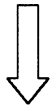
表—4 個性，情緒発達

第一子	男の子同志で遊ぶ マイペース型
第二子	女の子同志で遊ぶ（組合せ，第四子，第五子） 負けず嫌い
第三子	男の子同志で遊ぶ（第一子に遊びを合せる） 付き合い上手
第四子	女の子同志で遊ぶ（組合せ，第二子） 感情の起伏が激しい マイペース型
第五子	女の子同志で遊ぶ（組合せ，第二子） マイペース型 指しゃぶり（就寝時）



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

昭和 51 年 1 月 31 日鹿児島市立病院にて出生した山下家の「5 つ子」の満 7 才時の身体計測値から身長については 1 年間の伸びは平均値以上ではあるが, 第 3 子は 10%tile であり, 第 5 子は 25%tile であった。体重に関しては全員共に平均値以下であった。しかしながら身長, 体重共に異常という判定はされなかった。成長の評価としての Lohrer 指数はほぼ全員 “ やせている ” と判定された。

生活歴からは運動機能発達では全員集団的な運動を好み, 個々の遊びでは男児は男児らしく, 女児は女児らしい遊びをしていた。個性情緒発達では女児相互間に問題が残されていた。